

かごしまクリーンアップキャンペーン 2010 報告書



クリーンアップかごしま事務局

後 援／ 鹿児島県・鹿児島大学水産学部・第十管区海上保安本部

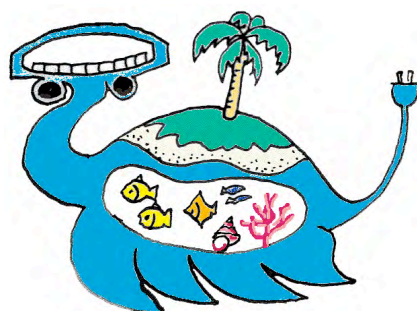
目 次

巻頭言	・・・・・・・・ 1
I. クリーンアップキャンペーンとは	・・・・・・・・ 2
II. クリーンアップキャンペーン参加方法	・・・・・・・・ 3
III. クリーンアップキャンペーン 2009 結果	・・・・・・・・ 5
IV. 事務局だより	・・・・・・・・ 10
V. 協力・謝辞	・・・・・・・・ 13
■ 巻末資料：会場別結果・データカード	・・・・・・・・ 14

巻頭言

新プロジェクト

「DASA-9&うみそうじん／海ごみ排出ゼロ宣言」始動！



日本の人口は1億2,750万人。しかし2009年のJEAN主催のクリーンアップキャンペーンに参加した人は、のべ46,574人。これは日本の人口の0.04%にしかありません。海ごみ問題の原因は、私たちの大量消費大量廃棄の日常生活にあり、その解決には、ごみを拾う人を増やすことも大切ですが、1億2,750万人がごみを出さない人になることも必要です。『海ごみ排出ゼロ宣言』では、より多くの市民に海洋へごみを出さない宣言をしてもらい、その宣言を生活エリアと繋げることで、日本を「ごみを出さない人」で埋め尽くそうという海ごみ発生抑制の活動です。クリーンアップに参加していただいたみなさんは「うみそうじん」です。あわせてごみを出さない「DASA-9」にも変身してはどうでしょうか。



ストーリー 1990年、海岸がごみによって汚されるのを見つけた「うみそうじん」は、海岸に散乱するごみを食べ、それを海の生物に変えてきた。しかし「うみそうじん」がいくらごみを食べても、海岸のごみは増えるばかり。2000年、ついにその原因が分かった。どうやら8本の手をもつピンクの生物「ダストパス」のしわざらしい。「ダストパス」は、8本の手を使って、町、山、川、海にごみをまき散らす。「うみそうじん」の一つの口では、とてもそれを食べ尽くすことはできません。次第に日本の海岸はダストパスピンクに染まってきた。2010年、海をきれいにするため、新たな助っ人がやって来た。その名は「DASA-9（ダサナイン）」。「海ごみ排出ゼロ宣言」をすることにより、ダストパスが生まれ変わる。きれいな水辺を取り戻すため、「うみそうじん」と力を合わせてダストパスピンクの日本を

DASA-9 ブルーとうみそうじんグリーンに変えていくぞ！ただしDASA-9の姿でいられるのは1年間。毎年忘れずに変身しよう。（表紙絵中央がDASA-9）

詳しくは、<http://marinelitter.seafrogs.info/>をご覧ください。

クリーンアップかごしま事務局 代表

一般社団法人 JEAN 理事

藤枝 繁

I. クリーンアップキャンペーンとは

クリーンアップキャンペーンは「美しい、健やかな海」を未来の子どもたちに残していくために、世界中の仲間とともに
行う活動です。

1. 国際海岸クリーンアップ (ICC)

「国際海岸クリーンアップ (ICC = International Coastal Cleanup)」は、米国に本部を置く環境NGO「Ocean Conservancy」が主催する水辺の清掃活動で、1986年に始まりました。これは、海岸、河川及び水中から散乱ゴミを取り除きながら、その組成や数量等を世界統一のデータカードを使用して分析し、現状を客観的に把握することによって、海洋環境の保全及び改善に向けた社会的提言を行っていかうという国際的な活動です。毎年、9月第3日曜日を中心に行われ、2008年には、104ヵ国から約39万人の人々が参加しました。

日本におけるビーチクリーンアップキャンペーンの歴史は、1990年9月、国際海岸クリーンアップに80名のキャプテンが参加したことに始まります。現在、日本国内では一般社団法人JEAN（旧JEAN／クリーンアップ全国事務局）によって、毎年春に「全国クリーンアップキャンペーン」が、秋に「国際海岸クリーンアップ」が企画され、市民への海洋環境保全に対する意識の普及や行動への参加を促してきました。秋の国際海岸クリーンアップは、2009年までの20年間に、のべ4,248会場、300,239人のボランティアが参加し、市民による国内最大規模の海洋環境保全活動に発展しています。また、一般社団法人JEANでは、本活動を通じて市民、企業、行政、専門家、海外諸団体等とのネットワークの充実を図り、得られたデータは、毎年春にまとめられ、海洋環境保全活動の普及のための貴重な資料として利用されています。その成果は、現在では多くの企業・行政・地域において改善に向けた活動として実践されています。

2. かごしまクリーンアップ

キャンペーン

「かごしまクリーンアップキャンペーン」とは、「国際海岸クリーンアップ (ICC)」のローカル版です。1998年秋の国際海岸クリーンアップに参加した鹿児島県の4人のキャプテンが、もっとこのキャンペーンの輪を県内で広げようと、1999年2月、情報の中継基地として「クリーンアップかごしま事務局」を設立しました。本キャンペーンには、これまで12年間にのべ62,730人（うち調査参加者22,327人）が参加し、827,621個のゴミを数えて回収しました。

現在、事務局は、シーカヤッカー、ダイバー、サーファー、ヨットマンなどの海洋スポーツ愛好家や漁業関係者など、日頃から海に関わるメンバーが中心となって運営されています。事務局では、県内会場のコーディネートをはじめ、クリーンアップキャンペーンの普及活動、地域でのクリーンアップ活動の支援、海ゴミ問題に関する環境教育活動、改善に関する調査研究・提言活動など、様々な活動を行っています。また協賛事業として、錦江湾みらい総合戦略推進協議会による「錦江湾クリーンアップ作戦」が、毎年春と秋に鹿児島湾沿岸で実施されています。

一方、県外で発生した海洋ゴミが本県にも大量に漂着し、その量は市民ボランティアだけでは解決できないレベルにまで達しています。事務局では問題解決に向けて、活動と協力・理解の輪を全国に広げるため、県外で行われる様々な活動にも積極的に参加しています。

II. クリーンアップキャンペーン参加方法

キャンペーンとなると大きなイベントを想像されるかもしれませんが。参加者を募って大がかりに実施されている会場もありますが、1人でも実施できる活動です。以下にキャンペーン参加方法をご紹介しますので、好きな方法をお選び下さい。

■初めてなのでよくわからない…

→オープン会場に行ってみよう！

オープン会場は誰でも気軽に参加できます。事前登録は不要、受付は直接会場で行います。軍手を用意し、サンダルではなく靴を履き、戸外に長時間いますので長袖長ズボン、水筒持参で参加しましょう。鹿児島県内にはオープン会場が数カ所ありますので、詳細はクリーンアップかごしま事務局（以下、事務局）までお問い合わせ下さい。

■自分で（仲間を募って）やってみたい！

→あなたがキャプテンです！

キャプテンとは、仲間を募って会場を運営し、データを集計して事務局に送るボランティア・リーダーです。1人でもできますが、一人だとごみの多さと寂しさで空しくなってしまうので、人数が多ければ会話も増え、辛さも減りますので、できれば仲間を誘って活動されることをお勧めします。

なお広く参加者を募集するオープン会場を運営されたい場合は、事務局でも参加者募集の告知をしますので、ご連絡下さい。

□キャプテンはどうすればいいの？

1. 調査場所を決める

好きな場所を選びましょう。主として海岸と水中ですが、河川敷や町中、公園、学校内でもOKです。ダイバー仲間と海底のごみを回収するもよし、魚釣り帰りのクリーンアップもよし。いろんなところでやってみましょう。会場を決める際には必ず下見をし、危険でなく、継続して行える場所を選びましょう。またトイレや水飲み場、風雨を避けられる場所や駐車場の有無、現地までの交通手段、ごみの回収・搬出のしやすさ、近隣に迷惑をかけない場所かなども確認しておきましょう。また、ごみが多すぎると調査に疲れたり無力感が襲ってきたりしますので、調査回収範囲は、

参加者数やごみの量を見て、欲張らずに決めましょう。

なお国際海岸クリーンアップ（ICC）は、海岸、海中、海につながる湖沼や川などの水辺で行われたものが対象です。市街地や山など水辺以外のデータは、ICC 結果としては集計されませんが、JEAN およびクリーンアップかごしま事務局では、内陸データとして集計しておりますので、ぜひお送りください。

2. 日程を決める

日本では毎年2回、春のキャンペーンはアースデイ（4月22日）から世界環境デー（6月5日）を含む環境週間に、秋のキャンペーンは「国際海岸クリーンアップ（ICC）」の名称で9・10月に世界一斉キャンペーンとして実施しています。なお、「かごしまクリーンアップキャンペーン」は通年で行っていますので、時期に関係なくご参加下さい。

3. 活動時間はどれくらい？

やり始めると結構熱中して時間がたつのを忘れてしまいます。でも野外での活動ですので、小学生なら30分、大人なら1時間程度が目安でしょう。2時間も続ければ、大人でもギブアップです。意気込まなくても残念ながらごみはたくさんあります。海を身近に感じるのがすべての始まりですので、クリーンアップ後は潮風を受けながらお弁当を食べたり、貝殻を拾ったり、スポーツを楽しんだりして海を楽しみましょう。

4. 参加登録

キャプテンとして春・秋のキャンペーン実施を希望される方は、事務局まで参加申込をお願いします。参加していただいたキャプテンには、事務局より鹿児島県版の年次レポート「かごしまクリーンアップキャンペーン報告書」を無料でお届けいたします。また JEAN が発行します全国版の年次レポート「クリーンアップレポート」が必要な方は、1,000 円で販売しておりますので、参加申込の際にご予約

ください。なお事後の購入も可能です。参加申込は、巻末の参加申込書をご利用ください。

5. 準備

★必ず必要なもの

- (1) ごみ袋
- (2) 作業用手袋（軍手）
- (3) データカード：巻末のカードをコピーしましょう。

(※2009 年度に一部改訂されました)

- (4) 下敷き：カードを挟めるバインダー式の下敷き、または A4 サイズに切ったダンボール（コピーしたデータカードを両面に貼るとピラピラしませんよ）。
- (5) 筆記用具
- (6) カメラ
- (7) 救急箱

★あれば便利なもの

ボランティア保険、当番医の確認、はかり、受付用机、名簿、文具類（ガムテープ・はさみ・サインペン・白紙など）、拡声器、スタッフの目印（帽子、T シャツ、名札など）

★連絡

集めたごみの処分方法を必ず考えておきましょう。ここが一番たいへんなところです。数人の会場では、自宅に持ち帰って処分するのが簡単です。帰宅後の分別も忘れずに。たくさん回収する場合やオープン会場として実施する場合は、あらかじめ会場を下見し、事前に市町村役場と処分方法を打合せしておきましょう。そのときには活動の趣旨と合わせて「全国一斉実施」、「国際的キャンペーン」、「データをとって元から改善」の三点を強調するのが効果的です。なお、市町村役場の他、キャンペーンに協力いただいた方々にはお礼と報告を忘れずに！

6. さあ、活動開始！

まず三人 1 組を作りましょう。そのうち 1 人が記録係です。次にキャプテンは、カードへの記入方法（特にわかりにくいごみを中心に全項目の確認）と回収したごみの分別方法について全員に説明しましょう。なお「たくさん」や「約 100 個」では集計できません。一つ一つきっちり数えましょう。カード内の品目内容がわからない場合は、『クリーンアップマニュアル』を参照下さい。一度集めたごみを後で分類し記録する方法もありますが、炎天下ではかなりたいへんです。分類時間や軒下等の分類場所が確保できな

い場合は、ごみを拾いながら記録し、後で処分方法に従った分別を行う方法がよいでしょう。

★安全上の注意

- ・ 針の付いた注射器は、直接袋に入れてはいけません。針が飛び出すのでとても危険です。ペットボトル等の堅い入れ物に入れて回収しましょう。また注射器に限らず、鋭利なものの扱いは十分に注意しましょう。
- ・ 発煙筒や信号弾等を発見した場合は、触れずに警察に通報しましょう。爆発事故も起きています。
- ・ 大きい物や重たい物は無理して運ばず、残念ですがそのままにしておきましょう。
- ・ 中身がわからない容器の蓋は開けてはいけません。
- ・ 回収したごみは、海岸等で燃やしてはいけません。
- ・ 安全のため、足場の悪い場所や波打ち際には近づかないようにしましょう。
- ・ 怪我や体調不良の場合には、がまんせず、直ちに本部・キャプテンに連絡しましょう。

活動による事故に対して、事務局、キャプテンは一切の責任を負いません。ボランティア活動ですので、参加者は各自、自己責任で活動して下さい。なおキャプテンはできる限り安全な範囲で活動できるように計画しましょう。オープン会場では、万が一のためにボランティア保険に加入しています。一般会場のキャプテンで保険に加入したい場合は、かごしま事務局までご相談下さい。

7. 終わった！

回収後、すぐに集計し、何が多かったか、どんなものがあったかなどをその現場で参加者全員にフィードバックしましょう。またなぜ海岸にこんなにゴミがあるのか、このゴミはどのような影響を与えるのか、さらにどうすれば解決できるか等、参加者一同で考えてみましょう。

集計後は、JEAN へ結果（データカード、感想、写真等）を提出して下さい。もし雨で中止になってもその旨連絡下さい。なお ICC に使用するデータは、9～10 月に行われた会場で JEAN に 10 月末日までに到着したものです。秋の ICC（水際、水中）期間以外のデータや内陸部のデータも、県内・国内集計には利用されますので、こちらも JEAN までお送り下さい。会場情報は、かごしま事務局の web site (<http://www.seafrogs.info/>) でも公開しています。

III. かごしまクリーンアップキャンペーン

2010 結果

1. 会場および参加者数

今年で12年目となりました「かごしまクリーンアップキャンペーン2010」には、3,180名のボランティアが36会場に参加しました。このうち31会場では、回収と同時にICC（国際海岸クリーンアップ）データカードを使った調査が実施され、2,293人によって53,387個の漂着散乱ゴミとデータが収集されました（表1、図1）。今年度は、口蹄疫の影響で春に大隅半島を中心に会場の中止が相次ぎ、総実施会場数、総参加者数、キャプテン総数が大きく減少しました。しかし秋にはその影響もなくなり、ICC参加者数は、昨年を若干上回りました。



図1. 2010年度の会場（番号は表1の会場番号を示す）

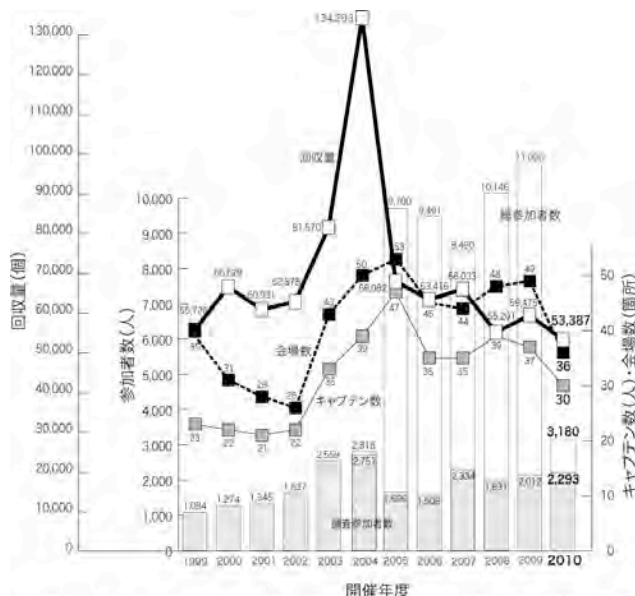


図2. かごしまクリーンアップキャンペーン12年間の活動の推移

過去12年間の活動の推移を図2に示します。これまでのキャンペーンを振り返ると、62,730名（うち調査参加者22,327名）のボランティアが、鹿児島県の海岸に漂着散乱する827,621個のゴミを回収したことになります。一人当たりの平均回収個数は、昨年よりも多い38.7個/人（昨年29.6個/人）となりましたが、総回収個数は近年減少傾向にあります。

エリア別実施会場数は、鹿児島湾エリアで最も多く17会場であり、全体の54.8%を占めました。またデータカードを使って調査を実施した会場は、鹿児島湾エリアが14会場、薩摩大隅半島エリア、奄美・薩南諸島エリアがそれぞれ7会場、河川エリアが1会場、内陸エリアが2会場となりました。

2. 流出起源別割合

海岸に漂着散乱しているゴミを破片・かけら類、陸上起源類（喫煙、飲料、食品、農業、医療・衛生、生活・レクリエーション、衣料品、家電・粗大ゴミ、物流、建築、特殊なゴミ）、海洋起源類（海運・水産業、釣り）の三大分類および小分類し、エリア別に比較したものを表2に示します。

まず鹿児島県海岸等に漂着散乱するゴミ（総合）の51.9%（昨年53.3%）が破片・かけら類となりました。これは、1品目あたりの個数で陸上起源類と比較すると、7.5倍にもなります。これらの多くは、直接海岸に捨てられたものや、陸上に捨てられたものが海洋に流出して海岸に漂着したものが、紫外線による劣化や波浪による衝撃などによって破片化したものと考えられます。近年、海岸に放置されたゴミの破片化の進行は深刻です。特にプラスチックは、微小な破片となっても自然界では決して分解されません。これらが海岸に堆積し、また海上に再流出して世界の海に漂流拡散していくことを防ぐためには、製品ゴミから微細ゴミにいたるまですべてのゴミを海洋全域からすみやかに回収することが急務と言えるでしょう。

表1 かごしまクリーンアップキャンペーン2010 会場一覧

No.	海域	キャプテン名	グループ名	市町村名	会場 海岸等名称	実施日	参加者 (人)	回収量 (個)	回収量 (m ³)	回収量 (kg)	距離 (m)
1	鹿児島湾	東郷宏邦	かごしま環境未来館講座「はじめてみよう!海ボラ!」	鹿児島市	磯街道下海岸	2010. 5. 15	26	1,372	2	18	100
2		安藤康志	株式会社ランドアート「クリーンアップツアー」	霧島市	弁天島	2010. 5. 16	12	1,130	2	20	200
3		生見小学校担当者	鹿児島市立生見小学校、喜入海上保安署	鹿児島市	生見海水浴場	2010. 5. 27	48	1,672	6	150	300
4		前之浜小学校エコレンジャー隊員	鹿児島市立前之浜小学校、喜入海上保安署	鹿児島市	前之浜海岸	2010. 6. 2	48	2,115	4	80	200
5		海上保安部担当者	鹿児島市立清水小学校、清水中学校、鹿児島海上保安部	鹿児島市	磯海水浴場	2010. 6. 4	253	3,838		1,070	400
6		錦江湾みらい	吉野町磯町内会、市職員、県職員、海上保安部、清水小学校、清水中学校、クリーンアップ鹿児島事務局	鹿児島市	磯海水浴場	2010. 6. 4	370			1,070	400
7		錦江湾みらい	錦江湾みらい総合戦略推進協議会	鹿児島市	溶岩なぎさ遊歩道海岸	2010. 6. 15	中止				0
8		錦江湾みらい	錦江湾みらい総合戦略推進協議会	錦江町	錦江町内海岸(一帯)	2010. 6. 27	中止				0
9	薩摩・大隅半島	錦江湾みらい	喜入港振興協力会、新日石基地安全協力会、中名小学校ソフトボウlsスポーツ少年団、中名小学校バレーボールスポーツ少年団、中名小学校中集落あいご会、ジュニアリーダークラブ、喜入建設組合、鹿児島市役所喜入支所、鹿児島市役所ボランティア隊	鹿児島市	喜入港海岸	2010. 7. 3	341			700	2,000
10		錦江湾みらい	錦江湾みらい総合戦略推進協議会	霧島市	国分キャンプ海水浴場	2010. 7. 3	中止				0
11		錦江湾みらい	錦江湾みらい総合戦略推進協議会	始良市	重富海水浴場	2010. 7. 3	中止				0
12		錦江湾みらい	錦江湾みらい総合戦略推進協議会	垂水市	垂水市内海岸(全域)	2010. 7. 3	中止				0
13		藤枝繁	鹿児島大学水産学部	鹿児島市	磯仙巖園下	2010. 7. 8	13	3,410	6	48	300
14		錦江湾みらい	錦江湾みらい総合戦略推進協議会	指宿市	魚見港(田良岬)	2010. 7. 10	中止				0
15		錦江湾みらい	錦江湾みらい総合戦略推進協議会	始良市	須崎海岸	2010. 7. 10	中止				0
16		錦江湾みらい	錦江湾みらい総合戦略推進協議会	霧島市	小浜海岸	2010. 7. 11	中止				0
17		錦江湾みらい	錦江湾みらい総合戦略推進協議会	鹿屋市	高須・浜田海岸	2010. 7. 17	中止				0
18		錦江湾みらい	錦江湾みらい総合戦略推進協議会	霧島市	福山港海岸	2010. 7. 19	中止				0
19		錦江湾みらい	錦江湾みらい総合戦略推進協議会	南大隅町	尾波瀬・大泊海岸	2010. 7. 19	中止				0
20		日高	国立大隅青少年自然の家、海からのメッセージ	鹿児島市	桜島野尻海岸	2010. 8. 4	43		2	18	100
21		有村智仁	志学館高等部生徒会	鹿児島市	磯街道下海岸	2010. 8. 6	9	508	2	15	100
22		錦江湾みらい	南大隅町立宮田小学校	南大隅町	大浜海岸	2010. 9. 3	24	1,425	1	100	200
23		濱川清久	(社)鹿児島青年会議所「錦江湾キッズ倶楽部」	始良市	重富海水浴場	2010. 9. 11	60	627	1	9	100
24		錦江湾みらい	高須町内会、浜田町内会、高須小学校、浜田小学校、高須中学校、鹿屋海洋スポーツクラブ	鹿屋市	高須・浜田海岸	2010. 10. 16	183	2,286	6	150	200
25		錦江湾みらい	垂水市立垂水中央中学校、東京海上日動火災保険(株)鹿児島支店・鹿屋支社	垂水市	浜平海岸	2010. 10. 16	205	5,020	62	300	300
26		錦江湾みらい	ライオンズクラブ、(株)井上建設、(有)岩掃、加治木町商工会、錦海漁業協同組合、(有)肝付電設、かしの木、(株)岩瀬組、(株)山藤建設、社会福祉法人敬天会障害者支援施設さちかぜ、始良市職員互助会	始良市	須崎海岸	2010. 10. 16	200	5,438	21	340	200
27		錦江湾みらい	錦海漁業協同組合、始良市職員互助会、東京海上日動火災保険(株)鹿児島支店、重富中学校	始良市	脇元海岸	2010. 10. 16	350	1,851	10	200	300
28		安藤康志	(株)ランドアートクリーンアップツアー	鹿児島市	神瀬	2010. 10. 24	中止				0
29		錦江湾みらい	薩南浄水管理センター、指宿市役所	指宿市	魚見港(田良岬)	2010. 10. 30	115	2,391	11	380	100
30	薩摩・大隅半島	有村智明	100人のアクアリスト	大崎市	くへの松原海岸	2010. 5. 9	中止				0
31		中野行男	ボランティア中野	薩摩川内市	唐浜海岸	2010. 5. 30	1		30	350	2,000
32		宇都逸郎	いちき串木野市立羽島小学校、串木野海上保安部	いちき串木野市	羽島海岸	2010. 6. 8	50	764		50	150
33		松ヶ浦小学校ゴミ調査係り	南九州市立松ヶ浦小学校、指宿海上保安署	南九州市	松ヶ浦海岸	2010. 6. 16	16	259		46	200
34		菊野憲一郎	花渡川人の会	枕崎市	馬追川河口	2010. 7. 19	12	484	2		100
35		西村浩二	第1回海の学校(主催:NPO法人江口浜ビーチサービス)	日置市	江口浜	2010. 8. 29	32	1,654	4	42	50
36		藤枝繁	鹿児島大学共通教育「海へ出よう」	日置市	吹上浜天神ヶ尾海岸	2010. 9. 2	17	830	2	26	1,000
37		西村浩二	はだしのコンサートin吹上浜	日置市	江口浜	2010. 10. 3	8	179			20
38		有村智明	62人のアクアリスト	大崎市益丸	くへの松原海岸	2010. 11. 7	62	5,607	8	300	800
39		奄美・薩南諸島	古仁屋海上保安署担当者	瀬戸内町	諸鈍長浜海岸	2010. 5. 19	36	882	1	25	1,000
40	河川内陸	川崎朋之	龍郷町立龍北中学校(リサーチきよら海岸)、奄美海上保安部	龍郷町	嘉波海岸	2010. 6. 4	43	1,726	6	167	1,000
41		菊野憲一郎	枕崎市青年会議所・海のゴミなくし隊	三島村	硫黄島東温泉海岸	2010. 7. 11	38	451	1		50
42		有村智明	三島村海の学校(硫黄島コース)	三島村	硫黄島港	2010. 7. 24	20	267	2	20	100
43		有村智明	三島村海の学校(竹島コース)	三島村	竹島港	2010. 7. 27	8	67	1	6	50
44		小脇有希乃	南種子町教育委員会	南種子町	広田海岸	2010. 9. 5	30	520	2	18	200
45		松藤恵市	日本コカ・コーラ株式会社	屋久島町	塚崎海岸(屋久島)	2010. 11. 20	32	1,276	24	161	500
46		新内博之	鹿児島YMCA法人賛助会	鹿児島市	永田川河口付近	2010. 9. 11	132				
47		倉重加代	鹿児島女子短期大学	鹿児島市	甲突川河川敷	2010. 10. 7	24	288	0	5	1,000
48	安藤康志	霧島市立青葉小学校3年2組	霧島市	青葉小学校周辺路上	2010. 6. 27	59	603	0	2	1,200	
49	池田芳弘	鹿児島市立和田中学校1年生	鹿児島市	和田中学校周辺	2010. 12. 9	260	4,447	4	90		
※錦江湾みらい=錦江湾みらい総合戦略推進協議会担当者							3,180	53,387	222	5,976	14,920

表2 調査区分（海域）別散乱ごみの流出起源別割合

大分類	小分類	品目数	回収量（個数），回収割合																	一品目
			水際										内陸				総合			あたりの 回収個数 (個/品目)
			海岸					河川		計										
			鹿児島湾		薩摩・大隅半島		奄美・薩南諸島												計	
破片／かけら類	7	20,446	61.8%	4,352	44.5%	1,536	29.6%	26,334	54.8%	35	12.2%	26,369	54.6%	1,347	26.7%	27,716	51.9%	3,959		
陸上起源	喫煙	4	3,390	10.2%	292	3.0%	168	3.2%	3,850	8.0%	164	56.9%	4,014	8.3%	1,636	32.4%	5,650	10.6%	1,413	
	飲料	6	3,655	11.0%	2,309	23.6%	1,818	35.0%	7,782	16.2%	20	6.9%	7,802	16.1%	377	7.5%	8,179	15.3%	1,363	
	食品	5	3,432	10.4%	1,008	10.3%	546	10.5%	4,986	10.4%	62	21.5%	5,048	10.4%	1,260	25.0%	6,308	11.8%	1,262	
	農業	3	236	0.7%	196	2.0%	21	0.4%	453	0.9%	0	0.0%	453	0.9%	21	0.4%	474	0.9%	158	
	医療	2	90	0.3%	51	0.5%	46	0.9%	187	0.4%	1	0.3%	188	0.4%	17	0.3%	205	0.4%	103	
	衛生	3	33	0.1%	7	0.1%	4	0.1%	44	0.1%	1	0.3%	45	0.1%	10	0.2%	55	0.1%	18	
	生活・レクリエーション	6	893	2.7%	559	5.7%	104	2.0%	1,556	3.2%	3	1.0%	1,559	3.2%	195	3.9%	1,754	3.3%	292	
	衣料品	2	148	0.4%	165	1.7%	82	1.6%	395	0.8%	1	0.3%	396	0.8%	21	0.4%	417	0.8%	209	
	大型粗大ごみ	6	83	0.3%	35	0.4%	17	0.3%	135	0.3%	1	0.3%	136	0.3%	48	1.0%	184	0.3%	31	
	物流	4	37	0.1%	111	1.1%	4	0.1%	152	0.3%	0	0.0%	152	0.3%	1	0.0%	153	0.3%	38	
	建築	2	110	0.3%	102	1.0%	5	0.1%	217	0.5%	0	0.0%	217	0.4%	67	1.3%	284	0.5%	142	
	特殊	2	5	0.0%	11	0.1%	0	0.0%	16	0.0%	0	0.0%	16	0.0%	0	0.0%	16	0.0%	8	
	小計	45	12,112	36.6%	4,846	49.6%	2,815	54.2%	19,773	41.2%	253	87.8%	20,026	41.4%	3,653	72.3%	23,679	44.4%	526	
	海・海運・水産業	9	450	1.4%	533	5.5%	835	16.1%	1,818	3.8%	0	0.0%	1,818	3.8%	49	1.0%	1,867	3.5%	207	
河 釣り	3	75	0.2%	46	0.5%	3	0.1%	124	0.3%	0	0.0%	124	0.3%	1	0.0%	125	0.2%	42		
川・小計	12	525	1.6%	579	5.9%	838	16.1%	1,942	4.0%	0	0.0%	1,942	4.0%	50	1.0%	1,992	3.7%	166		
総計	64	33,083		9,777		5,189		48,049		288		48,337		5,050		53,387		834		
海域別回収総量割合		62.0%		18.3%		9.7%				0.5%		90.5%		9.5%		100%				

また全体の 44.4%（昨年 39.7%）を占めた陸上起源ごみは、喫煙、飲料、食品、生活・レクリエーションなど、我々の日常生活に起因するものが 9 割以上を占めました。

流出起源をエリア別に比較すると、全エリアで共通して目立つのが**飲料**、**食品**であり、内陸エリア、鹿児島湾エリア、河川エリア、**喫煙**が、薩南・奄美諸島エリアで**海運・水産業**が 10%を超えました。これらの傾向は、ここ数年変化がありません。また鹿児島湾エリアで目立つ流出起源が河川エリアと内陸エリアで共通することから、閉鎖性内湾海岸におけるごみ散乱の原因は、内陸を起源とする品目の河川からの流出と、海岸利用者のマナーの低さに原因があると推察されます。

これら陸上起源のごみは、海岸に直接投棄されたものというよりも、むしろ河川を通じて陸上から海洋へ流出したものと考えられます。とすると海岸に漂着したものはその一部であり、河川やその河口の海底にはそれ以外のものが大量に堆積していることが危惧されます。産業や医療に関わるごみの流出も大きな問題ですが、まずは海と離れた陸上で生活する我々が、海洋に大きな負担をかけているという意識を持つことが必要でしょう。

一方、全体の 3.7%（昨年 7.0%）を占めた海洋起源ごみは、主に海洋での産業活動やレジャー活動に起因するものでした。これら水辺で使用される品目は、不法投棄以外にも不適切利用や管理不足によっても流出してしまいます。回収された品目は、その中でも水に浮いて海岸に流れ着いたもののみです。海洋上で投棄されたごみの中には、沈むものも多く含まれており、一度海底に沈むと調査や回収が困難となることから、河川からの流出と合わせて、海洋上でのごみの流出防止についても常に心がけなければなりません。

3. 品目別順位

今年度の品目別総合順位は、プラスチックシートや袋の破片が 11.8%で第 1 位、発泡スチロール破片（大）が 10.1%で第 2 位、硬質プラスチック破片が 10.1%で第 3 位、タバコの吸殻・フィルターが 9.0%で第 4 位、ガラス瀬戸物破片が 8.6%で第 5 位となりました（表 3）。2003 年より鹿児島湾では、発泡スチロール破片の発生源の一つである発泡スチロール製漁業用フロートの処分・リサイクルが推進されてきました。その結果、鹿児島湾では発泡スチロール破片の割合は近年減少してきましたが、今年は大小合わせると 2009 年度の 11.7%から 23.2%へと増加しました。今後もこの取り組みの効果を継続的に見守っていかねばなりません。

表 3 品目別ワースト 20（総合）の昨年度との比較

2009 年度			2010 年度		
順位	品目	割合(%)	順位	品目	割合(%)
1	硬質プラスチック破片	22.3	1	プラスチックシートや袋の破片	11.8
2	プラスチックシートや袋の破片	10.2	2	発泡スチロール破片（大）	10.1
3	発泡スチロール破片（大）	8.2	3	硬質プラスチック破片	10.1
4	タバコの吸殻・フィルター	6.9	4	タバコの吸殻・フィルター	9.0
5	ガラスや陶器の破片	6.4	5	ガラスや陶器の破片	8.6
6	ふた・キャップ	5.9	6	ふた・キャップ	7.8
7	食品の包装・容器	5.1	7	発泡スチロール破片（小）	7.6
8	飲料用プラボトル	4.8	8	食品の包装・容器	6.2
9	発泡スチロール破片（小）	3.5	9	飲料用プラボトル	3.9
10	ロープ・ひも	3.5	10	袋類・プラスチック（農業用以外）	3.0
11	飲料ガラスびん	2.6	11	紙片	2.3
12	ウキ・フロート・ブイ	2.2	12	飲料缶	2.0
13	袋類・プラスチック（農業用以外）	1.8	13	ロープ・ひも	1.6
14	飲料缶	1.8	14	金属破片	1.5
15	紙片	1.6	15	ストロー・マドラー	1.3
16	ストロー・マドラー	1.4	16	飲料ガラスびん	1.3
17	生活雑貨	1.3	17	生活雑貨	1.2
18	花火	1.1	18	ウキ・フロート・ブイ	1.1
19	金属破片	1.0	19	使い捨てライター	0.9
20	使い捨てライター	0.9	20	袋類・紙（農業用以外）	0.9
	その他	7.6		その他	7.8
総回収個数 59,475 個			総回収個数 53,387 個		

また鹿児島県と全国の水際ワースト 10 品目を比較すると（図 3）、これらは順位と割合こそ異なりますが、品目は共通していることがわかります。海岸は海で世界の海とつながっていることから、海が抱えているごみ問題はどこでも共通であると言えるでしょう。

4. ワースト 10 品目の推移

鹿児島県におけるワースト 10 品目の 12 年間の推移を図 5 に示します。本年度のワースト 10 の特徴は、昨年 2, 3, 9 位のプラスチックシートや袋の破片、発泡スチロール破片大、発泡スチロール破片小が順位を下げ、昨年 1 位の硬質プラスチック破片が 3 位となり、ロープ・ひもに替わって袋類・プラスチック（農業用以外）が 10 位となりました。なおワースト 9 内の品目は、2006 年から変化なく、固定されています。

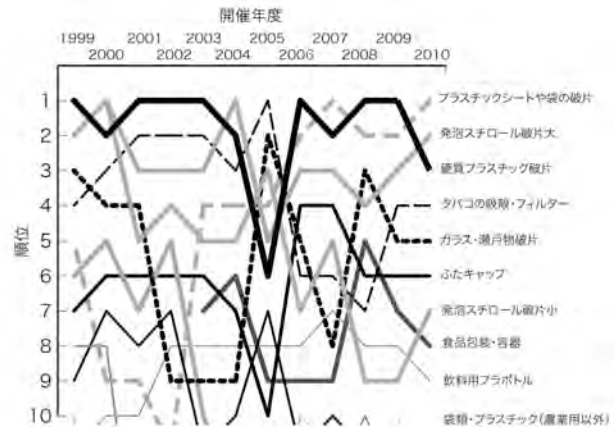


図5 ワースト10品目(総合)の12年間の推移

5. エリア別結果

最後に、表 4 に鹿児島湾エリア (14 会場)、薩摩・大隅半島エリア (7 会場)、奄美・薩南諸島エリア (7 会場) の海岸 3 エリアと、河川エリア (1 会場)、内陸エリア (2 会場) のワースト 10 を比較します。

総合 1 位は、プラスチックシートや袋の破片が鹿児島湾と薩摩・大隅半島の 2 エリアで 1 位となりました。海岸 3 エリア共通の品目は、硬質プラスチック破片、プラスチックシートや袋の破片、ガラスや陶器の破片、ふた・キャップ、発泡スチロール破片大、食品の包装・容器、飲料用プラボトルの 7 品目であり、発泡スチロール破片小、ロープ・ひも、袋類・プラスチック（農業用以外）の 3 品目が 2 エリアで共通していました。各エリア内単独でワースト 10 に入った品目は、鹿児島湾のタバコの吸殻・フィルター、薩摩・大隅半島エリアの生活雑貨、奄美・薩南諸島のウキ・フロート・ブイとなりました。なおふた・キャップと飲料用プラボトルの割合は、鹿児島湾エリア<薩摩・大隅半島<奄美・薩南諸島エリアとなり、外洋域で高い傾向が見られました。この傾向は、2008 年度から昨年と同じです。

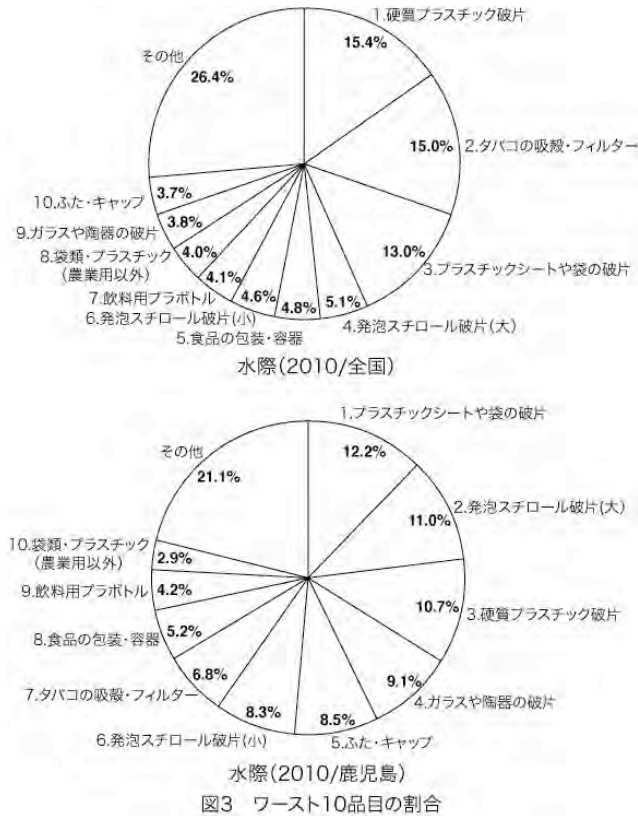


図3 ワースト10品目の割合

陸上起源ごみのワースト 3 の出現頻度を図 4 に示します。調査 31 会場で、陸上起源品目の上位 5 位のふた・キャップ、タバコの吸殻・フィルター、食品の包装・容器、飲料用プラボトル、袋類・プラスチック（農業用以外）は 8〜19 会場でワースト 3 内に入っており、これら 5 品目が多くの海岸で特に目立って散乱していることがわかります。

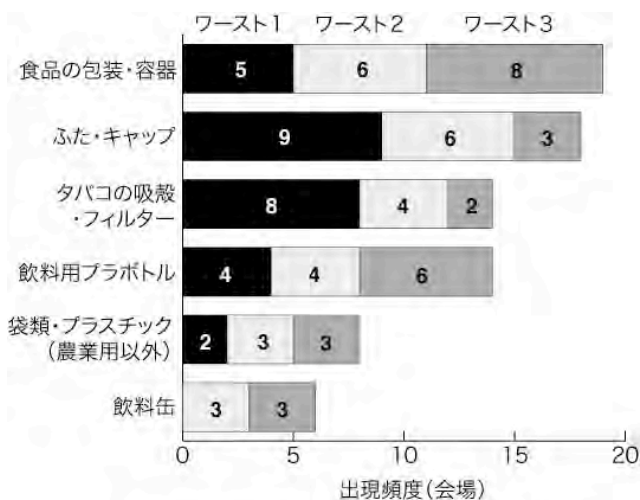


図4 陸起源ワースト3品目の会場頻度(n=31)

今年度の結果では、適切に処理されていれば 2,074 本の飲料用プラボトルと 1,094 本の飲料缶および 673 本の飲料ガラスびんが資源として再利用されていたことになります。これらは海岸にあることにより、砂や海水の塩分を含み、資源物とすることはできません。限りある資源を海洋に流出することによってその価値を失うことは大きな損失でもありますし、また不燃物として処理されることにより、地域の最終処分場の寿命を短縮させ、間接的に地域住民や自治体の負担が増すことにもなります。よってこれら品目の利用者である我々は、陸上においてごみのさらなる削減と適切な処分を実行していかなければなりません。

表 4 エリア別ワースト10品目の比較

鹿児島湾 14会場			薩摩・大隅半島 7会場		
順位	品目	割合 (%)	順位	品目	割合 (%)
1	プラスチックシートや袋の破片	12.8	1	プラスチックシートや袋の破片	14.4
2	発泡スチロール破片 (大)	12.1	2	ふた・キャップ	13.0
3	硬質プラスチック破片	11.4	3	硬質プラスチック破片	11.8
4	発泡スチロール破片 (小)	11.1	4	ガラスや陶器の破片	7.4
5	ガラスや陶器の破片	10.3	5	発泡スチロール破片 (大)	7.1
6	タバコの吸殻・フィルター	9.1	6	飲料用プラボトル	5.8
7	食品の包装・容器	5.3	7	食品の包装・容器	5.7
8	ふた・キャップ	4.8	8	生活雑貨	2.6
9	飲料用プラボトル	3.0	9	発泡スチロール破片 (小)	2.5
10	袋類・プラスチック (農業用以外)	2.8	10	ロープ・ひも	2.5
	その他	17.3		その他	27.1
総回収個数		26,815個	総回収個数		26,204個
奄美・薩南諸島 7会場			海域合計 28会場		
順位	品目	割合 (%)	順位	品目	割合 (%)
1	ふた・キャップ	23.5	1	プラスチックシートや袋の破片	12.3
2	発泡スチロール破片 (大)	12.3	2	発泡スチロール破片 (大)	11.1
3	飲料用プラボトル	8.9	3	硬質プラスチック破片	10.7
4	ウキ・フロート・ブイ	8.2	4	ガラスや陶器の破片	9.2
5	ロープ・ひも	6.1	5	ふた・キャップ	8.5
6	袋類・プラスチック (農業用以外)	6.0	6	発泡スチロール破片 (小)	8.3
7	ガラスや陶器の破片	5.4	7	タバコの吸殻・フィルター	6.6
8	プラスチックシートや袋の破片	4.8	8	食品の包装・容器	5.2
9	硬質プラスチック破片	4.2	9	飲料用プラボトル	4.2
10	食品の包装・容器	3.2	10	袋類・プラスチック (農業用以外)	2.9
	その他	17.5		その他	21.1
総回収個数		5,075個	総回収個数		58,094個
河川 1会場			内陸 2会場		
順位	品目	割合 (%)	順位	品目	割合 (%)
1	タバコの吸殻・フィルター	52.1	1	タバコの吸殻・フィルター	29.7
2	食品の包装・容器	14.2	2	食品の包装・容器	15.6
3	プラスチックシートや袋の破片	7.3	3	プラスチックシートや袋の破片	7.8
4	袋類・プラスチック (農業用以外)	5.6	4	紙片	7.0
5	タバコのパッケージ・包装	4.9	5	硬質プラスチック破片	4.3
6	ふた・キャップ	2.1	6	袋類・紙 (農業用以外)	4.2
7	硬質プラスチック破片	1.7	7	袋類・プラスチック (農業用以外)	3.9
8	飲料缶	1.7	8	ガラスや陶器の破片	3.8
9	紙片	1.4	9	飲料缶	2.8
10	飲料用プラボトル	1.4	10	タバコのパッケージ・包装	2.5
	その他	7.6		その他	18.5
総回収個数		149個	総回収個数		1,232個

6. まとめ

今年度のクリーンアップキャンペーンは、多くの団体、企業、個人の後援、協賛、協力により多くのボランティアの参加を得て、海岸で一つ一つ丁寧に拾い上げられたごみの数量は、53,387個となりました。皆さんと共に12年間、鹿児島県海岸に漂着散乱するごみの実態を記録してきましたが、その結果から改善の兆しはほとんど見られません。海

洋は地球規模で見ると閉鎖系であるために、部分的な汚染の放置は地球規模の汚染へと広がって行きます。よって我々は、まず身近な鹿児島県の海岸が私たちの生活で生じたごみによって汚染されていることをしっかり受け止め、これからも海岸清掃活動を単なる回収活動だけに終わらせるだけでなく、活動後、これらをどのようにすれば減らすことができるかを地域でまた家庭で考えていく場にすることが重要でしょう。また海洋へのごみの流入は今も継続しています。海は世界とつながっていることから、一時的に一地域をきれいにしても全体として見ればその効果はほとんどありません。よってきれいになった海岸では、美しさを持続させる努力も必要です。

2009年7月に「海岸漂着物処理推進法」が制定され、鹿児島県でも地域計画の策定に向け準備が進められています。ここではみなさんと共に集めた12年間分の海洋ごみのデータが利用されています。また錦江湾クリーンアップ作戦のように、広域で一体となった漂着ごみの清掃・調査活動が地域に根ざした活動となるなど、先進的事例も有しています。これらは長年の努力の積み重ねの成果でもあります。

IV. 事務局だより

1. かごしまクリーンアップキャンペーン 2011 計画

かごしま事務局では 2011 年度の活動として、「かごしまクリーンアップキャンペーン 2011」を以下の通り計画しています。昨年同様、みなさんのご参加をお待ちしております。

- 国際ビーチクリーンアップ (ICC) に参加します。
- 展示会、講演会、研修会などを通じて地域での環境学習を応援します。
- 各地で行われるクリーンアップイベントを応援します。
- 得られたデータを基に改善策を提案し、改善への道を開きます。

2. 「かごしまクリーンアップキャンペーン報告書」バックナンバーのご紹介

かごしま事務局では、1999 年活動分より年次報告書を作成しています。例年、クリーンアップキャンペーンの紹介や参加方法、各年の結果分析、参加者の声、活動の記録など継続して掲載しているとともに、それぞれの年に特集や寄稿記事があります。

ご希望の方は、かごしま事務局までお問い合わせください。1 冊 500 円で頒布しています。

【1999 年】*在庫わずか

- ・漂着物博物館：「オウム貝・漂流ハガキ・名刺」

【2000 年】*在庫なし

- ・改善に向けた取り組み：「改善事例／広島県の事例より」
- ・漂着物博物館：「オウム貝・人形いろいろ・ニッキ水の瓶・謎リング・謎の虫カゴ」

【2001 年】

- ・改善に向けての取り組み：「発泡スチロール製フロートおよび破片散乱に対する取り組み」
- ・漂着物博物館：「謎の漂着物、薬莢（やつきょう）のふた」

【2002 年】

- ・改善に向けての取り組み：「発泡スチロール製フロートの再資源化」、「漂着ごみ日韓協働プロジェクト」
- ・特集：「クリーンアップを「環境学習」に活用しよう！」
- ・漂着物博物館：「謎のレジンペレット（被覆肥料）」

【2003 年】

- ・改善に向けての取り組み：「発泡スチロール製フロートの

回収リサイクル」、「越境ごみ問題／ライタープロジェクト」

【2004 年】

- ・改善に向けての取り組み：「発泡スチロール漁業資材リサイクル確立事業」、「指標漂着物（ライター）を用いた海岸漂着ごみのモニタリング（ライタープロジェクト）」

【2005 年】

- ・海洋ごみ問題の現状と課題
- ・改善に向けての取り組み：「教育・啓発活動特集」
- ・調査報告：「ライタープロジェクト／東シナ海、日本海海岸に漂着する海洋ごみの流出地の推定」、「鹿児島県吹上浜における指標漂着物を用いた海岸漂着ごみの定期モニタリング」、「鹿児島県内自治体へのアンケート調査／海岸ごみの処分に関する協力意向調査」

【2006 年】

- ・海洋ごみ問題に関する 2006 年までの動き
- ・改善に向けての取り組み：「教育活動特集」
- ・調査報告：「全国海岸における微小プラスチックの漂着実態」

【2007 年】

- ・調査研究報告：「日本における国際海岸クリーンアップ (ICC) の現状とその課題」

【2008 年】

- ・調査研究報告：「鹿児島湾における海洋ごみ（海岸漂着ごみ、海面浮遊ごみ、海底堆積ごみ）の実態」

【2009 年】

3. JEAN オリジナル資料のご案内

JEAN では、以下のような海洋ごみに関する教育・啓発活動用の資料を制作しています。内容の詳細は JEAN (<http://www.jean.jp/>) をご覧ください。また e4shop (<http://e4.gofield.com/shop/products/category/101>) にて販売しています。どうぞご利用ください。

■クリーンアップキャンペーン・レポート

日本における国際海岸クリーンアップ (ICC) の年次レポートです。価格 1,050 円 (税込)

■JEAN 機関紙「美しい海をこどもたちへ」

年 4 回発行される JEAN 機関紙。クリーンアップキャン

ページの最新情報だけでなく、海を中心にした環境問題にかかわるトピックを満載。また JEAN が実施している「海ごみサミット」やシンポジウム、ワークショップなどの情報を得ることもできます。JEAN の活動を支援する海風サポート（年間 10,000 円、年一回のクリーンアップレポートと、年四回の機関紙をお送りします。）、潮風サポート（年間 3,000 円、年四回の機関紙をお送りします。）の皆さんに発送しています。

■クリーンアップマニュアル

初めてキャプテンになる方を対象としたクリーンアップマニュアルです。データカードの品目が一つずつ写真付きで説明されています。価格 525 円（税込）

■小学生向け環境ワークブックと指導者用ガイドブック

「海辺のカルテ—漂着物から学ぼう」

小学 4 年生以上を対象にした海辺での環境学習教材で、指導者用ガイドブックとワークブックのセットになっています。波や風、砂、生き物、ごみなどさまざまなものを題材にした 32 のアクティビティが紹介されています。学校のみならず地域での環境学習、生涯学習講座などでも活用可能です。価格 2,457 円（税込）



■DVD「ごみ箱になった海—私たちのごみが海を汚す」



ごみによる海の汚染の実情や問題点を紹介する、JEAN のオリジナル DVD。(株) アルバローザの支援で、海ごみの調査、生物の研究、沿岸域管理、市民活動など、現場で海のごみ問題に取り組む全国の専門家やクリーンアップの仲間たちへの 1 年半にわたる取材を経て作成されました。鹿児島県海も出てきますよ！上映時間 15 分。価格 2,100 円（税込）

■DVD「人工の海—外洋のプラスチック」

アメリカの環境 NGO アルガリタ海洋研究所が制作したビデオの日本語版 DVD。1950 年代のプラスチック時代の始まりから現在に至るまでに、捨てられたプラスチックが細か

な破片となって海を漂い自然に分解することなく存在し続



けている実態と、それがどのように環境に影響を及ぼすかを説明したものです。目に見えないところで起こっているショッキングな実態が紹介されています。上映時間 10 分。価格 1,575 円（税込）

■漂着物のトランク・ミュージアム

6 つの大きな旅行用トランクの中に、浜辺に流れ着いた様々な漂着物が収まっています。トランクの大きさは 90cm×60cm×24cm、6 トランクで一セットとなっています。開けばそのまま展示ができます。

●貸出方法

往復の送料と貸出料（保険料とメンテナンス費）6,000 円が必要です。送料は地域によって異なりますが、一個につき往復 3,000 円～5,000 円程度。JEAN から着払いで発送、元払いでの返送となります。貸出期間は送・返送期間を含



めて最長 2 週間です。

トランクの空き状況を必ず JEAN に電話か E メールでご確認いただき、貸出申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはファックスでお申込みください。なお貸し出しには「トランクアンケート（主催者用）」「トランクアンケート（来場者用）」の実施が必要です。必要書類は JEAN の web site (<http://www.jean.jp/>) からダウンロードできます。

■写真パネル「みんなの問題・海のごみ」

散乱ごみによる絡まりの被害にあった野生生物や、海岸に散乱するごみなどの写真パネルがこのたびリニューアルしました。パネルの種類も屋内用パネル、屋内野外用タペストリー、野外用ラミネート写真の 3 種類に増え、10 枚 1 組で写真が異なる 2 組を用意しました。会場の条件に合わせてご利用ください。

●貸出方法

往復の送料と貸出料 2,100 円が必要です。送料は、種類（パネル、タペストリー、ラミネート写真）と地域によって異なります。JEAN から着払いで発送、元払いでの返送となります。貸出期間は送・返送期間を含めて最長 2 週間です。

す。

パネルの空き状況を必ず JEAN に電話か E メールでご確認いただき、貸出申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはファックスでお申込みください。必要書類は JEAN の web site (<http://www.jean.jp/>) からダウンロードできます。

*なおパネルの一部は、かごしま事務局でも貸し出ししています。お問い合わせください。

4. 海ごみ関連 Website の紹介

■Malip 海ごみプラットフォーム・JAPAN

<http://www.malipjapan.jp/>

JEAN では、2007(平成 19)年 5 月「海ごみプラットフォーム・JAPAN 始動させるためのシンポジウム」を開催し、以後 JEAN が呼びかけ団体として「海ごみプラットフォーム・JAPAN」をスタートさせました。第 1 回目の「海ごみプラットフォーム・JAPAN」は、2008(平成 20)年 2 月、環境省の「漂流・漂着ゴミ対策に関する情報交換会」と合同で開催されました。本ウェブサイト **Malip** は、2010 年 3 月「海ごみプラットフォーム・JAPAN」の情報共有の場として設置されたものであり、全国の海ごみに関する情報を収集し、皆様に発信しています。国際海岸クリーンアップの各地の結果 **ICC** やクリーンアップに関するグッズを販売する **e4shop** などとリンクしています。どうぞご活用ください。

■ブログ／海から来ました

<http://marinelitter.seafrogs.info/>

鹿児島大学水産学部海ごみ研究室より、海ごみ研究と漂着物に関するお話です。**ライタープロジェクト**や **DASA-9 & うみそうじん**などの結果もご覧に頂けます。

5. 連絡先

■クリーンアップかごしま事務局

〒890-0056

鹿児島市下荒田 4-50-20

鹿児島大学水産学部水産教員養成課程分野内

代表 藤枝 繁

Tel&Fax/099-286-4252

e-mail <fujieda@fish.kagoshima-u.ac.jp>

<http://www.seafrogs.info/>

●ゆうちょ銀行総合口座 17810-26270441

加入者名「クリーンアップかごしま事務局

代表 藤枝繁」

(ゆうちょ銀行(総合口座) ATM からの電信振替の場合、手数料無料です。)

●鹿児島銀行 鴨池支店 普通口座 1213958

加入者名「クリーンアップカゴシマジムキョク」

■一般社団法人 JEAN

(旧 JEAN/クリーンアップ全国事務局)

〒185-0021

東京都国分寺市南町 3-4-12 マンションソフィア 202

Tel/042-322-0712 Fax/042-324-8252

e-mail cleanup@jean.jp

<http://www.jean.jp/>

☆書籍買い取りいたします。

自然科学・郷土誌・民族・近代文学・限定本・絵本他

あづさ書店西駅店

<http://www4.synapse.ne.jp/nishiekiten/>

(都通り電停下車)

鹿児島市中央町30-7

Tel: 099-254-5048

※クリーンアップ報告書のバックナンバーも取り扱っています。

V. 協力・謝辞

■主催：クリーンアップかごしま事務局

■共催：一般社団法人 JEAN

■後援：鹿児島県・鹿児島大学水産学部・第十管区海上保安本部

■協賛：あづさ書店西駅店、(株)ランドアート

■協賛事業：錦江湾クリーンアップ作戦（錦江湾みらい総合戦略推進協議会）

■告知協力：錦江湾みらい総合戦略推進協議会

■全国キャンペーン後援：環境省・水産庁・海上保安庁・国土交通省

■協力団体：始良町、始良市役所職員互助会、始良市立重富中学校、奄美海上保安部、いちき串木野市立羽島小学校、(株)井上建設、指宿海上保安署、指宿市、(有)岩掃、(株)岩澤組、NPO 法人江口浜ビーチサービス、大崎町、かしの木、鹿児島海上保安部、かごしま環境未来館、鹿児島県、鹿児島県企画部地域政策課、鹿児島市、鹿児島市磯町内会、鹿児島市役所喜入支所、鹿児島市役所ボランティア隊、鹿児島女子短期大学、鹿児島市立清水小学校、鹿児島市立清水中学校、鹿児島市立生見小学校、鹿児島市立前之浜小学校、鹿児島市立和田中学校1年、(社)鹿児島青年会議所錦江湾キッズ倶楽部、鹿児島大学「海に出よう」、鹿児島大学水産学部海ごみ研究室、鹿児島大学「ボランティア論」、加治木商工会、加治木ライオンズクラブ、鹿屋海洋スポーツクラブ、鹿屋市、鹿屋市立高須小学校、鹿屋市立高須中学校、鹿屋市立浜田小学校、鹿屋市高須町内会、鹿屋市浜田町内会、喜入海上保安署、喜入建設組合、喜入港振興協力会、(有)肝付電設、霧島市立青葉小学校3年2組、錦海漁業協同組合、串木野海上保安部、花渡川人の会、国立大隅青少年自然の家海からのメッセージ、古仁屋海上保安署、薩南浄水管理センター、(株)三藤建設、志學館高等部生徒会、社会福祉法人敬天会障害者支援施設さちかぜ、ジュニアリーダークラブ、新日石喜入基地安全協力会、瀬戸内町立諸鈍小中学校、第一回海の学校、龍郷町立龍北中学校、垂水市、垂水市立垂水中央中学校、東京海上日動火災(株)鹿児島市店・鹿屋支店、中名小学校ソフトボールスポーツ少年団、中名小学校バレーボールスポーツ少年団、中名小学校中集落愛護会、ナノックガイドチーム、日本コカ・コーラ(株)、はだしのコンサート in 吹上浜、ボランティア中野、枕崎市青年会議所海のゴミをなくし隊、三島村、三島村海の学校硫黄島コース、三島村海の学校竹島コース、南大隅町、南大隅町立宮田小学校、南九州市松ヶ浦小学校、南種子町教育委員会、(株)ランドアート、62人のアクアリスト(50音順)

■2010年度のキャンペーンは、上記の皆さんのご協力とご支援、ご理解により実施されました。ありがとうございました。

かごしまクリーンアップキャンペーン

2010 報告書

頒布： 500 円

2011 年 3 月 31 日発行

編集・発行 クリーンアップかごしま事務局

編集 藤枝 繁

〒890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20

鹿児島大学水産学部水産教員養成課程分野内

Tel & Fax /099-286-4252

e-mail / fujieda@fish.kagoshima-u.ac.jp

印刷 / 中島印刷株式会社 Tel /099-223-4321

無断転載禁止